

# 令和7年度 第4回益富地域会議 会議録

日 時：令和7年7月16日（水曜日）19時00分～20時15分

場 所：益富交流館 1階 多目的ホール

出席者：

＜地域会議委員＞梅木 貴仁、加藤 弘一、岸和田 紀美代、木戸 彰彦、黒田 隆、  
今野 貞直、櫻井 裕子、柴田 栄作、鈴木 勲、田中 強、  
鶴田 政勝、寺崎 謙二、橋本 卓美、古川 和彦、間瀬 亮次、  
森本 泰崇、山内 日出美

＜高橋支所＞前田支所長、出口副支所長、吉野担当長

## ＜内容＞

### 1 豊田市民の誓い唱和

### 2 会長あいさつ

### 3 地域課題解決事業【グループワーク】

令和7年5月に地域会議から提言した益富地域の「高齢化」に関する課題解決に向けて事務局で検討している以下の事業案についてグループに分かれて協議した。

#### 事業案①：ボードゲーム「コドクエ」の活用

- (意見)・前回の地域会議でゲームを体験したが実感としては「難しい」。もう少し分かりやすい説明書や動画があれば取り組みやすく啓発もしやすいと思う。
- ・多世代交えてゲームをする場合は、スムーズに進行するためにゲームの説明係が必要かと思う。

#### 事業案②：既存の交流事業の充実

- (意見)・いつ、どこで、どのような交流イベント（地域のサロン等）が行われているかの情報マップは便利かと思う。駐車場の情報も掲載するとさらに良い。
- ・掲載する情報が多い場合はサロン等の2次元コードを載せることもできる。
  - ・交流館ふれあいフェスタで地域会議として「サロン体験」のブースを設けてサロンを知ってもらうこともPR手法の一つかと思う。
  - ・東郷町が実施している「高齢者社会参加ポイント」(※)を参考にするのも良い。

(※) 高齢者の閉じこもりを予防し、社会参加を促すことを目的とした制度で、令和6年6月1日から開始。町内で実施しているサロン等の住民主体で行っている通いの場や老人クラブの活動に参加すると、「社会参加ポイント手帳」にスタンプを押してもらえる。スタンプを貯めると、最大2,000円

分の商品券に交換できる。

### 事業案③：見守り活動

- (意見)・小中学生から高齢者へハガキを出すだけでは一方通行なので、ハガキを出してもらった後の小中学生へのフォローアップが必要と思う。
- ・ハガキのやり取りは1回だけでなく、春夏秋冬、季節ごとに1回行い、ハガキには「最近楽しかったこと」等を書いてやり取りすると良いと思う。
  - また、ハガキの装飾に押し花等を付けて送ると柔らかい雰囲気になる。

### 事業案④：住民主体の「共助交通」の仕組みづくり

- (意見)・益富地区の共助交通マニュアルを作成して勉強会を開催する。
- ・「お助け隊」の共助交通バージョンをつくって益富地区でネットワークを構築する。
  - ・車リース代、ガソリン代、保険料さえ賄えれば地域で運営することはできると思う。
  - ・ドライバーの確保が難しいと思う。
  - ・交流館のような拠点となる「配車センター」が必要かと思う。

今回出された意見を踏まえて事務局で事業案を修正して、次回の地域会議で提示する。

## **4 事務連絡**

事務局から以下の2つについて連絡した。

### ①令和7年度 第5回益富地域会議

- ・日 時：令和7年8月20日（水曜日）19時～
- ・場 所：益富交流館 多目的ホール

### ②五ヶ丘まちづくりワークショップ（令和7年7月19日（土）開催）の案内

以上